星野学園小学校新聞

星野学園小学校
埼玉県川越市上寺山216-1
〒350-0826　TEL049(227)5588
星野学園小学校 Web
www.hoshinogakuen.ed.jp/hes/

冬の学校

三年ぶりに苗場スキー場にて冬の学校が行われた。

令和五年二月二日（木）～四日（土）、四年生～六年生は一足先に出発した。久しぶりの冬の学校であったため、数日前から期待が高まっている様子であった。一日目は、かつての感覚をうまく取り戻せず、何度も転んでいたが、二日目になると、感覚を取り戻し、低学年があこがれるような滑りを見せていた。

高学年は、二日目の夜にナイタースキーを行った。全体の参加率は九十五パーセントと意欲的に参加していた。昼と夜で景色の見え方が違い、新しい発見に満足感で溢れていた。三日（金）には、一年生～三年生が出発した。初めての冬の学校に、朝から早く出発したくてうずうずした様子が伺えた。バスに乗り込み、トンネルを抜けた時、一面が雪景色へと変化し、普段とは違う真っ白な景色に釘付けであった。

実習が始まると、初めてスキーを行う児童がほとんどで、ブーツを履くことに苦戦している姿が見られた。しかし、困っている子が近くにいると、すかさず友達が手助けをしていた。この一年間で友達との関係性を築いた成果が現れていた。いざ、ゲレンデに出ると、今まで歩いていた感覚と全く違い、初めて感じる感覚に興味津々であった。実際にスキー板をつけると、すぐ転んでしまったり、自分の意図した方向と違う方向に進んでしまったりする子が見られた。上手くいかなくても、何度も挑戦し、一日目が終わるときには緩やかな斜面を滑ることができていた。初めてのスキーに疲労感も伺えたが、それ以上に達成感で満ち溢れた表情であった。三年ぶりの冬の学校は、三日間とも天候が違い、様々な雪景色を見ることができた。また、友達と助け合って友情を深め、一年のまとめとして良い行事となった。（野口）

1年生はスキーに初挑戦しました

ナイタースキーも楽しく滑りました

京都・奈良宿泊学習

令和四年九月二十九日（木）～十月一日（土）に京都・奈良宿泊学習が行われた。今回は、四年生と新型コロナウイルスの影響で延期となっていた五年生の二学年合わせての実施となった。

京都・奈良宿泊学習は、いにしえの歴史に触れる「日本の伝統文化学習」である。児童は、自分の目で見て、触れる実体験を通して、歴史に思いをはせることができた。

一日目は、奈良に向かった。児童は、最初に見た「東大寺（大仏殿）」で、その大きさ、荘厳さに驚き感銘を受けていた。また、ガイドさんの方のお話をよく聴き学びを深めることができた。夜は、清水焼の絵付け体験をした。二日目は、班毎のタクシー見学となった。天候に恵まれ、水面に映る美しい金閣寺を見ることができた。大徳寺大仙院では、尾関宗園和尚様のお話を聴き、座禅体験をする貴重な体験となった。三日目は、嵐山でトロッコ列車に乗り、雄大な自然を味わうことができた。

京都・奈良宿泊学習は、旅館の方々、タクシーの運転手さん等、地元の人達と触れ合える事も魅力の一つである。宿泊学習を終えた児童の表情は、充実感と達成感で満ち溢れていた。（木戸）

座禅は貴重な体験となりました

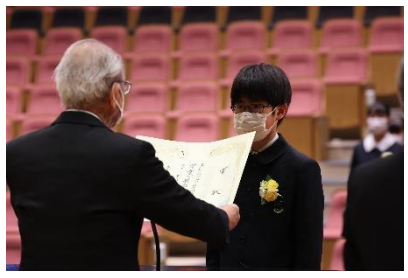
天候に恵まれ、充実した3日間となりました

卒業式

令和五年三月十四日（火）、柔らかな春の日差しの中、六十六名の十一期生が卒業の日を迎えた。星野学園では、礼法指導をしっかりと行い、厳粛な雰囲気で式典を執り行うのが伝統である。卒業生は、星野学園の伝統を体現し、在校生へと受け継げるよう、時間をかけて卒業式練習を行ってきた。卒業証書を受け取る卒業生の姿は凛々しく、まさしく最高学年としての自覚と誇りに満ち溢れた顔つきであった。送辞では、在校生代表の児童から、六年生へこれまでの感謝の想いを伝えた。答辞では、卒業生代表の児童が、六年間の出来事を回想し、最高学年としての思い出や苦労、コロナ禍で感じた「当たり前のありがたさ」を語り、卒業生も六年間の小学校生活に思いを馳せているようであった。卒業生の退場の際には、星野高校ウインドオーケストラ部による「旅立ちの日に」の壮大な演奏と、在校生代表として参列した五年生の温かい拍手が卒業生たちを見送った。

式典終了後には、クラス役員の保護者の方が主催する、校長先生を始めとした先生方へ感謝を伝える時間を設けた。普段は涙を見せることのない卒業生が、感極まり、思わず涙をこぼす姿が印象的だった。卒業生の下校時には、小学校の教員が総出で見送り、卒業生の新たな門出を祝った。卒業生の明るい未来を祈っている。（山田）

校長先生から卒業証書を授与していただきました


六年間皆勤し、学業に鍛錬しました

先生方、大変お世話になりました

入学式

令和五年四月十日（月）星野学園小学校に七十四名の新しい仲間を迎えた。久しぶりにコロナウイルス前の入学式が戻ってきた。七十四名の新入生は、六年生に手を引かれ星野記念講堂へとやって来た。これから始まる小学校生活への期待と不安がその表情から伝わって来た。

式典が始まり、担任の先生が新入生一人ひとりを呼名すると「はい！」と大きな声で元気よく返事をし、校長先生に礼をした。新入生の入学を祝う、校長先生のお話にもしっかりと耳を傾け聞くことができた。

式典を終え、教室に戻ると、飾りつけや新二年生から送られた歓迎のお手紙、新しい教科書を見て笑顔が溢れた。今日から始まる星野学園小学校での生活は笑顔でスタートした。（福田）

6年生に座席を案内してもらいました

対面式

令和五年四月十一日（火）児童会役員の運営のもと、対面式が行われた。この対面式で初めて新入生と在校生全員が顔を合わせた。児童会長の言葉にもあったように、在校生は新入生の入学を楽しみに待っていたのが伝わってくるような優しい笑顔と、温かい拍手で新入生を迎え入れた。温かい空気に包まれながら、七十四名の新入生が入場した。嬉しそうな笑顔で、担任の先生の後ろを元気に進んだ。

対面式が始まり、話を真剣に聴く姿は、すっかり星野学園小学校の一員だった。

対面式の最後には、在校生と新入生が向かい合い「よろしくお願いします。」の気持ちを込めてお互いに礼をした。小学校生活の中で、何か困ったことがあったら、優しくて頼れる上級生に力を借りながら、星野学園小学校での六年間を充実したものにしてほしいと心から願っている。（福田）

校長先生や児童会長のお話をしっかり聴けました

星華祭

令和四年九月十日（土）に星華祭が行われた。星華祭の実施は実に三年ぶりであった。

低学年は、箏曲の発表を大講堂にて行った。大きなステージ上で、大勢の人の前で発表することは全員初めてであった。リハーサルから緊張した様子が見られたが、本番になると、緊張していたことが嘘かと思うほど、堂々とした演奏をすることができた。みんなで心を一つに素敵な演奏を届けようとする姿は観客を惹きつけていた。

高学年は、班を作り、自分たちで校内の展示を見学した。中学・高校の部活動の内容を体験し、部活動や授業の様子を学ぶことができた。特に科学部の展示では、初めて見る実験に子どもたちは釘付けになっていた。

初めてのステージでの発表です

様々なことに興味関心を抱きながら、学業への意欲を高めてほしい。（野口）

部活動の展示に興味津々でした

高校生が優しく教えてくれました

ラジオ体操講習会

令和五年二月二十一日（火）に一～四年生を対象に星野ドームでラジオ体操講習会を行った。星野高校の卒業生で現在NHKテレビラジオ体操のアシスタントをされている戸塚寛子先生が講師としてきてくださり、一・二年生は「ラジオ体操第一」、三・四年生は「ラジオ体操第二」の体操の仕方を学んだ。

まずはしっかり準備体操を行い、その後一つ一つの動作の意味を確認しながら、体操の仕方を学んだ。授業の最後には質問コーナーが設けられ、児童の質問に答えてくださった。星野高校の卒業生である戸塚先生を、テレビで見たことがあるという子も多く、児童は、終始目を輝かせながら先生の話に耳を傾けていた。

一人でも多くの卒業生が社会で活躍し、今回の戸塚先生のように本学に戻ってきてほしいと願う素敵な時間であった。（下田平）

しっかり話を聴いて体操することができました

学習発表会

令和五年二月十八日（土）に学習発表会が保護者を招いて星野記念講堂で開催された。

1年生　堂々と演じることができました

一学年は、八十一人全員で国語の授業で学習した単元「たぬきの糸車」の演劇、二学年は「二年生の成長～君子を目指して～」と題し、一年間で学んだことや出来るようになったことを教科ごとに紹介した。三学年は新しい教科「総合的な学習」で研究してきた「身近な地域の紹介」の発表を行った。

2年生　論語について発表しました

各学年とも本番に向けてしっかり練習し、素晴らしい発表が出来た。発表本番に至るまで、子どもたち同士しっかりと協力し合い、積極的に準備に参加するなどこの一年で大きく成長した姿を所々で見せてくれた。

来年以降の成長を期待せずにはいられない素晴らしい学習発表会となった。（下田平）

3年生　工夫して発表することができました

6年生を送る会

令和五年三月十日(金)、「六年生を送る会」が行われた。

学級委員の司会のもと、一年生はダンスとメッセージ、二年生はダンス、三年生はクイズ、四年生はダンス、五年生はダンスと六年生へのメッセージ、マスゲームを準備し、六年生の卒業を祝った。各学年趣向を凝らし、卒業生が六年間の思い出を振り返ることのできるような内容や前向きに未来に向かえるようなメッセージを盛り込んだ。卒業生は、在校生の出し物に手拍子を打ったり、思わず笑ったりと微笑ましい姿が見られた。そして、最後に六年生からのお返しとして、クラス合唱を披露した。感染対策に努めながら、三年振りにクラス合唱に取り組み、卒業前にクラス一丸となる機会を得た卒業生は、休み時間等、隙間時間を利用して、練習を積んでいた。卒業生としてふさわしい姿を見せようと自ら考え、行動する姿には感心させられた。

別れの季節は、新たなスタートの季節でもある。後輩たちにとって、この集会は、寂しいものというだけでなく、進級に向けた気持ちの準備となったことだろう。（山田）

6年生を楽しませようと頑張りました

安全対策

「安全対策」は、星野学園小学校が最も重要としている「安全第一・人命尊重」を学ぶために、毎年行われる行事である。

埼玉県警察非行防止班「あおぞら」による「安全対策Ⅰ」は、令和五年四月十三日（木）に行われた。今年度は、体育館にて対面形式で実施することができた。内容は、一～三年生が「防犯教室」、四～六年生が「薬物乱用防止教室」である。防犯教室では「自分の命を守るための約束」について動画やクイズを通して主体的に学ぶことができた。薬物乱用防止教室では、喫煙、薬物、行き過ぎた飲酒の恐ろしさ、誘惑や誘いから身を守るための手段を学んだ。子どもたち一人ひとりが、真剣に向き合い、自分のこととして捉えることができた。

真剣に話を聴くことができました

同月十八日（火）にNTTドコモによる「携帯電話マナー教室」がオンライン形式で行われた。内容は「携帯電話の使用ルールとマナー」である。携帯電話の適切な使用方法やSNSのルールについて学んだ。三・四年生は、メモを取りながら聴くことができた。

星野の安全対策では「自分の命は自分で守ること」を大切にしている。児童は、今回の学びを実生活に生かし、安全な生活を送ることを願っている。（木戸）

クイズ形式で楽しく学ぶことができました